



*The English Patient*

マイケル・オンダーチェのブッカー賞受賞小説  
アンソニー・ミンゲラ監督のアカデミー賞映画  
女の体が空中でバラバラと分解する衝撃的なシーン

◆講演会

# 空中で分解する女の体

『イギリス人の患者』の文学と映画



講師：今泉容子氏（筑波大学教授・文学博士）

日時：2011.11/12 日 13:30～15:00 [13:00より受付開始]

場所：名古屋経済大学 名古屋サテライトキャンパス 10階ホール  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-25-13

定員：150名

※ご予約の方優先ですが、当日のご参加も大歓迎!!

お申し込みは、お名前・年齢・職業をご記入の上、メールで。  
後日お送りします返信メールを印刷して、当日ご持参ください。

お申し込み先：meikei\_lecture@yahoo.co.jp（担当：川津雅江）  
お申し込み締め切り：10月31日（月）

主催：名古屋経済大学・人文科学研究会 〒484-8504 犬山市内久保 61-1

入場無料

どなたでも参加できます



今泉容子氏 いまいずみ ようこ

- 名古屋生まれ。文学博士（アメリカのイエール大学から取得）。
- 名古屋大学助教授をへて、現在、筑波大学人文社会科学研究科教授。
- ケンブリッジ大学(英)、ハーバード大学(米)、北京大学(中)、オタワ大学(加)の客員研究員。
- 内閣府の共生社会政策・国際交流事業に関与。
- 日本語の著書『映画の文法』、『スクリーンの英文学』、『日本シネマの女たち』、『ブレイク修正される女』の他に、英語著書や共著が多数。
- 『世界人名事典2011年度版』（Marquis）に日本人として掲載される。

『イギリス人の患者』のあらすじ

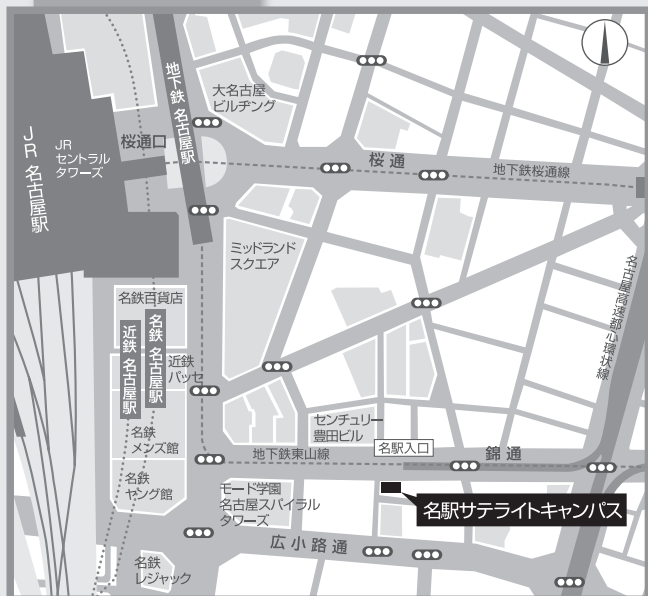
舞台はイタリアのフィレンツェ郊外にあった元僧侶の屋敷。登場人物は、第二次世界大戦末期、北アフリカの砂漠に飛行機が墜落して全身に火傷を負い、記憶も喪失し、名前も不明な瀕死の男性。「イギリス人の患者」として呼ばれるこの男性を看護するカナダ人の若い従軍看護婦ハナ。ハナの居所を知り、ローマからやって来たハナの父の旧友で、泥棒出身の元連合軍スパイのカラバッジョ。そしてイギリス軍爆弾処理係のインド出身の若い工兵キップ（本名キルバル・シン）。四人の穏やかな日常とそれぞれの傷ついた過去が、互いに交錯しながら、詩的な文体で断片的に紡ぎだされる。「イギリス人の患者」の回想の中で語られるのは、砂漠探検家のハンガリー人伯爵アルマーシと、上流階級のイギリス人ジェフリー・クリフトンの美しい若妻キャサリンとの激しい恋。クリフトンが飛行機を墜落させたとき、アルマーシはキャサリンを救い出して洞窟に運ぶ。砂漠の描写が美しく幻想的な作品である。

マイケル・オンダーチェ [1943- ]

*Michael Ondaatje*

スリランカの首都コロンボ生まれのカナダの詩人・小説家。11歳でイギリスに渡り、19歳でカナダに移住。トロント大学を卒業し、クイーンズ大学で修士号を取った。1967年、処女詩集を出版。1970年、『ビリー・ザ・キッド全仕事』（邦訳は国書刊行会、1994年）でカナダ総督文学賞を受賞。以後、詩や小説、映画、演劇など幅広い分野で活躍している。1992年発表の『イギリス人の患者』（新潮文庫、1999年）は、イギリス最高の文学賞であるブッカー賞を受賞。この小説を原作とした1996年公開の映画『イングリッシュ・ベイスメント』（アンソニー・ミンゲラ脚本・監督）は、第69回アカデミー賞で作品賞・監督賞など9部門を受賞した。他の邦訳作品には『パディ・ボールデンを覚えてるか』（新潮社）、『ライオンの皮をまもって』（水声社）、『家族を駆け抜けて』（彩流社）、『アニルの亡霊』（新潮社）、『ディビザデロ通り』（新潮社）がある。

会場案内図



名古屋駅から徒歩5分。  
スパイラルタワーズ北側道路沿い。  
ミヤコ地下街4番出入口から東へすぐ。